

竹田市葬斎場再整備事業
火葬炉設備工事

審査講評

令和5年12月

竹 田 市

目 次

1 事業概要	1
(1) 事業名	1
(2) 事業実施場所	1
(3) 発注者	1
(4) 施設概要（火葬炉設備工事）	1
(5) 事業実施者の業務及び期間	1
(6) 事業方式	1
2 最優秀提案者選定までの経過	2
(1) 選定の方法	2
(2) 事業者選定の手順	2
(3) 最優秀提案者選定までの経過	3
3 選定委員会	4
(1) 選定委員会の設置	4
(2) 選定委員会の開催経過	4
4 審査結果	5
(1) 応募者	5
(2) 参加資格審査	5
(3) 基礎審査	5
(4) 最優秀提案者の選定	5
5 審査講評	7
(1) 各評価項目の講評	7
(2) 審査講評	9

1 事業概要

(1) 事業名

竹田市葬斎場再整備事業 火葬炉設備工事

(2) 事業実施場所

大分県竹田市大字君ヶ園2418番1

(3) 発注者

竹田市

(4) 施設概要（火葬炉設備工事）

本件施設の概要は、以下に示すとおりである。

火葬炉設置基数 3基（大型炉1基、標準炉2基）

排気方式 1炉1系強制排気方式

使用燃料 灯油

(5) 事業実施者の業務及び期間

設計・建設業務 : 契約締結の日～令和8年3月

(6) 事業方式

事業は、対象施設の設計、施工を一括して発注するDB方式（設計・施工一括発注方式）により実施した。

2 最優秀提案者選定までの経過

(1) 選定の方法

市は、本事業への参加を希望する事業者を広く公募し、透明性及び公平性の確保に十分留意して事業者を選定した。なお、事業者の選定は、技術提案、価格及びその他の条件により最優秀者を選定する公募型プロポーザル方式で行った。

(2) 事業者選定の手順

事業者選定の手順は図1のとおりである。

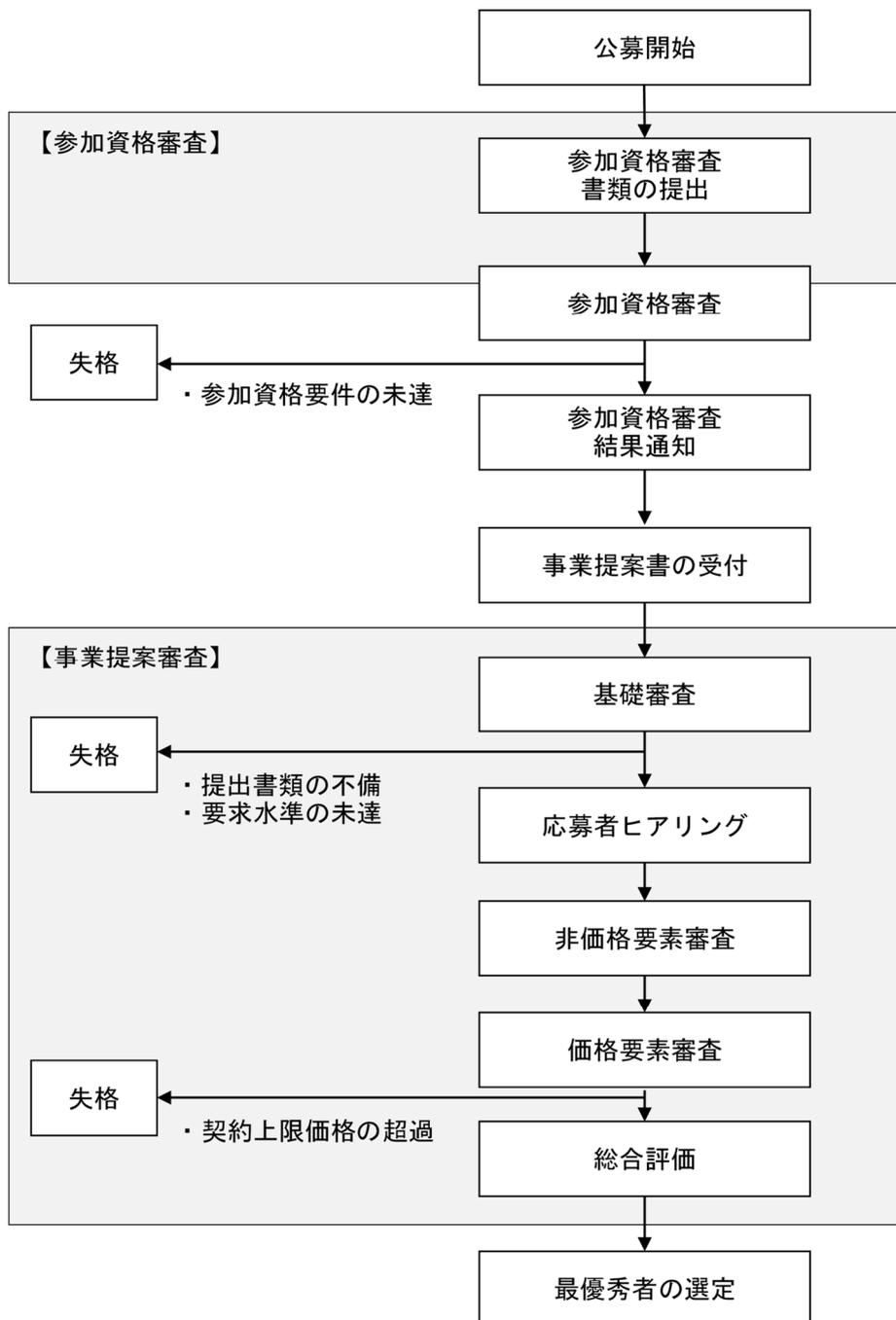


図1 事業者選定の手順

(3) 最優秀提案者選定までの経過

最優秀提案者選定までの経過は、表 1 のとおりである。

表 1 最優秀提案者選定までの経過

内 容	日 程
① 公募開始	令和 5 年 6 月 30 日 (金)
② 現地見学会	令和 5 年 7 月 12 日 (水)、13 日 (木)
③ 第 1 回質問受付期限	令和 5 年 7 月 19 日 (水)
④ 第 1 回質問回答公表	令和 5 年 7 月 28 日 (金)
⑤ 参加資格審査書類受付期限	令和 5 年 8 月 4 日 (金)
⑥ 第 2 回質問受付期限	令和 5 年 9 月 8 日 (金)
⑦ 第 2 回質問回答公表	令和 5 年 9 月 15 日 (金)
⑧ 事業提案書及び価格提案書受付期限	令和 5 年 10 月 13 日 (金)
⑨ 最優秀者の選定	令和 5 年 11 月 27 日 (月)、28 日 (火)

3 選定委員会

(1) 選定委員会の設置

市は、本業務を公募プロポーザル方式で実施するに際し、諸基準の策定等に関して協議及び検討を行うとともに事業提案内容の審査を行うことを目的に、学識経験者を含む委員で構成される竹田市葬斎場再整備事業に係る事業者選定委員会(以下「選定委員会」という。)を設置した。なお、選定委員会の委員構成は表 2 のとおりである。

表 2 選定委員会の委員構成

所 属	委員名
【委員長】 有識者 福岡大学名誉教授	松藤 康司
【副委員長】 有識者 日本文理大学副学長	島岡 成治
【副委員長】 有識者 (公財) ふくおか環境財団 理事 福岡市葬祭場 場長	日野 浩昭
有識者 大分県豊後大野土木事務所 企画調査課 建築住宅班主幹 (総括)	廣井 孝信
竹田市 副市長	藤田 和徳
竹田市 総務課長	熊谷 芳浩
竹田市 建設課長	堀 徳広
竹田市 環境課長	氏田 哲生

(敬称略・順不同)

(2) 選定委員会の開催経過

選定委員会の開催経過は、表 3 のとおりである。

表 3 選定委員会の開催経過

日 程	内 容
令和 5 年 4 月 17 日 (月)	第 1 回 選定委員会 (事業概要及び委員会スケジュールの把握、実施方針書及び要求水準書(案)の確認)
令和 5 年 6 月 14 日 (水)	第 2 回 選定委員会 (募集要項の確認、要求水準書の確認、評価基準の確認)
令和 5 年 10 月 31 日 (火)	第 3 回 選定委員会 (最優秀提案者の選定方法確認、提案内容についての審議、質問書内容についての審議)
令和 5 年 11 月 27 日 (月) 28 日 (火)	第 4 回 選定委員会 (基礎審査結果の承認、応募者ヒアリング、非価格要素審査、価格要素審査、総合評価、最優秀提案者の選定、審査講評)

4 審査結果

市及び選定委員会は、最優秀者選定基準に従い以下のとおり審査を実施した。

(1) 応募者

表 4に示す3者の応募者から参加資格申請書類が提出された。

なお、選定委員会による審査にあたっては、審査の公平性を期すため、提案書等全ての書類において応募者の企業名を伏せ、応募者名で審査を実施した。

表 4 応募者一覧

応募者名	ブルーグループ	オレンジグループ	グリーングループ
------	---------	----------	----------

(2) 参加資格審査

市は、応募者から提出された参加資格申請書類により参加審査を行い、各応募者が基礎審査項目を満たしていることを確認した。

(3) 基礎審査

市及び選定委員会は、応募者から提出された事業提案書により基礎審査を行い、各応募者が基礎審査項目を満たしていることを確認した。

(4) 最優秀提案者の選定

選定委員会の審査により決定した非価格評価点、価格評価点及び総合評価点は表 5のとおりであり、この結果から選定委員会は、グリーングループ（太陽築炉工業株式会社）を最優秀提案者として選定した。

表 5 審査結果

	配点	ブルーグループ	オレンジグループ	グリーングループ
非価格評価点	80 点	62.3 点	61.8 点	65.9 点
価格評価点	20 点	20.0 点	20.0 点	18.4 点
総合評価点	100 点	82.3 点	81.8 点	84.3 点

なお、非価格要素審査及び価格要素審査の結果の詳細は、表 6及び表 7のとおりである。

表 6 非価格要素審査の結果

評価項目	配点	非価格点 (点)		
		ブルー	オレンジ	グリーン
1. 事業実施に関する項目	13	9.7	9.4	9.4
(1) 業務執行体制における基本的な考え方	2	1.3	1.4	1.4
(2) 企業実績	2	2.0	2.0	2.0
(3) 配置予定技術者実績の資格および実績	2	1.0	1.0	1.0
(4) 工程計画	3	2.3	2.1	2.1
(5) 大規模修繕計画表	4	3.1	2.9	2.9
2. 図面に関する事項	17	11.9	12.0	13.0
(1) 火葬炉設備概要、フローシート	2	1.4	1.5	1.5
(2) 火葬炉設備機器配置図および機器姿図	2	1.5	1.6	1.6
(3) 火葬炉設備設計計算書	3	2.3	1.9	2.6
(4) 火葬炉電気設備容量計算書およびシステム運転時負荷計算書	2	1.4	1.5	1.4
(5) 導入事例による飛灰の実績値	4	2.9	2.9	3.0
(6) 運転指導および教育体制	4	2.4	2.6	2.9
3. 施設計画に関する事項	46	38.4	38.0	41.0
(1) 火葬炉コンセプト	14	13.6	13.1	13.1
(2) 火葬炉の性能	6	4.7	4.5	6.0
(3) 操作性・維持管理性	12	9.4	9.0	10.1
(4) 運営・支援システム	8	6.0	6.5	6.5
(5) 維持管理性・省エネ・環境負荷低減策	6	4.7	4.9	5.3
4. 施工計画に関する事項	4	2.3	2.4	2.5
(1) 施工中の既存斎場や周辺環境への配慮	2	1.2	1.3	1.4
(2) 経済的で円滑な施工への配慮	2	1.1	1.1	1.1
	80	62.3	61.8	65.9

表 7 価格要素審査の結果

項目	ブルーグループ	オレンジグループ	グリーングループ
提案価格 (税込)	228,800,000 円	228,800,000 円	248,600,000 円
価格点	20.0 点	20.0 点	18.4 点

5 審査講評

(1) 各評価項目の講評

業務提案に関する各評価項目についての講評は、表 8 のとおりである。

表 8 各評価項目の講評

評価項目	講 評
1. 事業実施に関する項目	
(1) 業務執行体制における基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣斎場の建築設計施工の実績を持つプロジェクトマネージャーを配置して、一貫した業務管理を行うことを高く評価した ・ JISQ14001 マニュアルによる品質、環境マネジメントを実施する提案を評価した
(2) 企業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模火葬場及び大分県内における火葬場へ納入実績が複数あることを評価した
(3) 配置予定技術者実績の資格および実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配置予定技術者の実績において、大規模施設が複数あることを評価した
(4) 工程計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場製作および現場設置の工事期間短縮の可能性について具体的な提案を評価した ・ 火葬炉本体のユニット化による工期の厳守や品質確保を評価した
(5) 大規模修繕計画表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期修繕費については想定金額内であることを確認した ・ 実績に基づき、他の葬祭場のデータと比較し、予防保全を講じる提案を評価した
2. 図面に関する事項	
(1) 火葬炉設備概要、フローシート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火葬炉設備の概要およびフローシートの内容を確認した
(2) 火葬炉設備機器配置図および機器姿図	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンテナンス方法や広さを具体的に示した平面計画であることを確認した ・ 機器姿図は詳細までわかりやすい図面であった
(3) 火葬炉設備設計計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーション時の説明がわかりやすかった ・ 計算上だけでなく、実績に基づいたデータを提示した点を評価した
(4) 火葬炉電気設備容量計算書およびシステム運転時負荷計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火葬炉電気設備容量計算書の内容を確認した
(5) 導入事例による飛灰の実績値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経年変化のデータ提示があり、信頼できる説明であった
(6) 運転指導および教育体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトマネージャー、教育リーダーによる教育体制を構築している点を確認した ・ 火葬炉運転マニュアルや運転指導チェックリストなど独自の教育体制を構築している点を確認した ・ 理解度に応じ、教育期間の延長を保証することを評価した ・ 近隣斎場との連携など具体的な提案を評価した
3. 施設計画に関する事項	
(1) 火葬炉コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご遺体の尊厳、高い公害防止基準、高度な自動燃焼システム（特許）など良い火葬を行うための製品開発や独自の制御システムを有していることについて評価した ・ 胎児の火葬について遺族の思いを汲んだ火葬に取り組んでいる点を高く評価した

評価項目	講 評
	<ul style="list-style-type: none"> ・副葬品等の可燃障害物に対する具体的な提案があった点を評価した ・自動とマニュアルの切り替えなど火葬技術者（オペレーター）の技能が発揮できる手動運転の必要性の言及があった点を評価した ・デレッキ操作せず火葬時間も含め、安定した運転ができる火葬炉であることを企業実績も含め、確認できた ・収骨台車は、収骨する遺族の心情や安全に配慮した低騒音台車であることを評価した
(2) 火葬炉の性能	<ul style="list-style-type: none"> ・主燃焼炉において、合理的な燃焼効率が確保された提案が示されていた。 ・再燃焼炉における排ガス滞留時間について高く評価した
(3) 操作性・維持管理性	<ul style="list-style-type: none"> ・日常運転における安全対策について企業実績に基づいた具体的な提案がされていた ・緊急時に最短30分以内に駆けつけ対応が可能である点や地元との緊急時対応体制を構築する提案を評価した
(4) 運営・支援システム	<ul style="list-style-type: none"> ・運営を効率化するために必要なシステムの構築について確認できた ・高レベルのセキュリティ対策を導入することについて高く評価した
(5) 維持管理性・省エネ・環境負荷低減策	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ及び環境負荷低減策として副葬品の削減啓発など具体的な提案があった ・排ガス類の目標レベルを独自の保証値を設定するなど、高いレベルでの環境負荷低減の提案があった
4. 施工計画に関する事項	
(1) 施工中の既存斎場や周辺環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・既存斎場に対する施工中の配慮などは、具体的な策が望まれる
(2) 経済的で円滑な施工への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事との連携など、具体的な策が望まれる

(2) 審査講評

今回、参加した各応募者の提案は、本業務の目的や内容を十分理解し、市の発注する要求水準書を上回る提案内容であった。各応募者においては、提案に係る労力及び費用負担が多であったことが想定されるなか、短期間で事業提案書等を取りまとめた応募者の熱意と技術力に敬意を払うとともに、深く感謝する。

非価格要素審査及び価格審査においては、全ての審査項目に対して厳正なる審査を行った結果、グリーングループの提案が最も優れた提案内容であると評価し、最優秀提案者とした。

また、選定委員会の審議において、同事業者の提案内容に対して次に示す要望事項が挙げられた。

- 建築企業と火葬炉設備企業を分離した設計施工一括発注であることから、火葬炉設備企業としてこれまで数多くの火葬場を手掛けた経験やノウハウを生かし、火葬場の設計施工の経験のない建築企業へのアドバイスや整備イメージの共有など、火葬炉設備企業のプロジェクトリーダーが事業をリードするような対応を強く望む。
- 事業期間中は建築企業と共同で、設計施工一括発注であることを踏まえ、設計、施工ともに最善の努力を期待する。事業提案書及び質疑回答、ヒアリングで対応するとしたことを確実に実施し、市や建築企業と意思疎通を図り、最後まで責任を持った設計施工を実現してほしい。
- 火葬炉設備の性能及び操作性に優れ、公害防止への取り組みも独自の保証値を設定するなど、他社に比べ、高く評価した。遺族に寄り添った火葬ができる製品づくりを今後も継続していただきたい。
- 運転指導や緊急時の対応について、近隣施設との連携体制を高く評価した。
将来的には双方向でのバックアップ体制を構築し、この地域全体が安定した火葬施設運営が可能になることを期待する。
- 建設期間においては、周辺地域への配慮や事故防止等の安全対策を徹底するとともに、工程管理を適切に行い、工期を厳守願いたい。また、全体工期や広域連携期間については可能な限り、短縮できる提案を期待する。
- 既存葬斎場を運営しながらの新築工事であることから、既存葬斎場利用者への安全対策は一層の配慮をお願いする。また、日々の火葬予定や施設の使用状況を施設管理者、建築企業と連携し、工程管理、安全管理、品質管理の徹底をお願いする。
- 事業提案書は図表を多く取り入れるなど、審査する側が理解しやすい提案書になるよう心がけていただくことを今後は期待する。
- ヒアリングの説明は技術に裏付けられた自信のあるプレゼンテーションであった。今後、本市はユーザーとして、御社が持続的にこのような体制が継続できることを期待する。

グリーングループ（太陽築炉工業株式会社）は、本事業をより良いものとするため、これらの事項について、市と十分な協議を行い、真摯な対応に努めていただきたい。特に、見直しが必要と認められる事項は、積極的に改善を図るよう取り組んでいただきたい。

市とグリーングループ（太陽築炉工業株式会社）は、相互に信頼できるパートナーとして、今後本事業において共に連携し、より質の高い公共サービスを提供するよう期待するものである。